

**2010年 新春****年頭にあたって**

執行委員長 船出信政

## 反弹圧の闘いを職場・地域から強化・拡大しよう！

組合員・OBの皆さん、家族の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

昨年は「蒲郡駅事件」の刑事・民事裁判傍聴券獲得をはじめとする取り組みに、多くの組合員が参加していただき大変ご苦労さまでした。裁判所は、結論ありきの推認・推論による超反動判決を下しました。まさに、つくられた「えん罪事件」であることは明白です。労働者・市民団体への弾圧や、えん罪事件は後を絶ちません。人が人間らしく生きるための闘いを社会から抹殺し、「物言わぬ世の中にする」との権力側の意志、その意志に基づいた「蒲郡駅事件」、「JR浦和電車区事件」に対する反動判決であるといわなければなりません。

「蒲郡駅事件」に抗する闘いは、刑事裁判の上告審開廷、2・19民事裁判判決とさらに続きます。組織破壊攻撃を断固はね返し、裁判闘争勝利と早期職場復帰実現のための闘いを職場・地域から強化・拡大しようではありませんか。

## リニア構想、「低コスト化」を口実とした労働強化を許さず闘おう！

会社経営陣は「中央新幹線リニア構想」に向けて血眼になっています。そのために、JR東海社内誌をはじめとして、「低コスト化」が繰り返し論じられています。実際、職場ではさらなる効率化と労働強化や労務管理強化がなされ、私たち労働者に容赦なく襲いかかってきています。そして、実質的な賃金の引き下げも具体的に現れてきています。

昨年12月に実施された、修繕車両所の台交作業の外注化、台車検査車両所の効率化などはその最たるものです。また、関連会社においても徹底した「低コスト化」として、業務の削減や人員削減による労働強化が行われています。私たちは、現場で働く労働者に犠牲を強いる安全無視での効率化による労働強化には反対です。

私たちが職場から問題を問題として言い続け、闘わない限り、現実には切り開けません。職場から「あきらめず」「流されず」「こだわりを持って」、他労組組合員に呼びかけながら闘って行きましょう。そして、すべての闘いを組織強化・拡大に結実しようではありませんか。

今年は新幹線関西地本結成15年の年です。キャンプ、ポーランド平和研修など、様々な取り組みも行います。組合員・OBの皆さん、家族の皆さん、本年もよろしくお願ひします。